



R1.6.18 山形県沖地震による被災
写真：(左)落石による通行止め
(右)盛土部の法面崩壊



日本海沿岸東北自動車道 朝日温海道路

災害に強い安定した道路ネットワーク

新潟・山形県境における交通障害

【山形県沖地震による通行止め】

国道345号（板貝地先）弘法トンネルにおいて、**落石**による通行止めが発生。4日間（約66時間）の通行止めとなった。

沿線住民（板貝、今川）は被災のなかった国道7号、県道6号線等への迂回が生じた。（約1時間30分の迂回が発生）



【R1.6.18】村上市板貝・今川地先



【R1.6.18】村上市板貝・今川地先

【人身事故による通行止め】



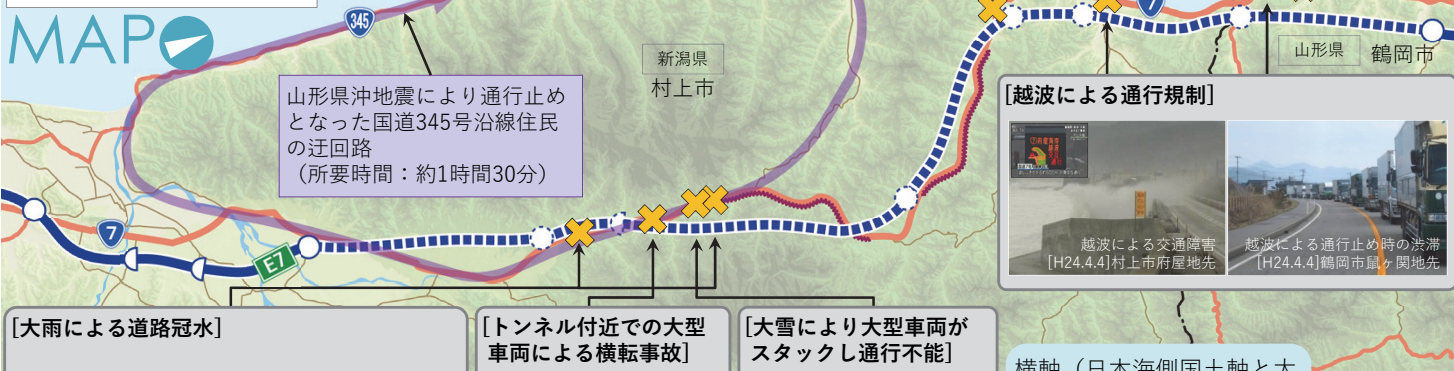
生活道路に迂回する大型車両
【H30.8.6】村上市勝木地先

【大雨による法面崩落】



【H18.7.13】鶴岡市小岩川地先

✕：交通傷害発生箇所
〰〰：事前通行止め規制区間



【大雨による道路冠水】



【H17.8.11】村上市大須戸地先



【H17.8.11】村上市酒田地先

【トンネル付近での大型車両による横転事故】



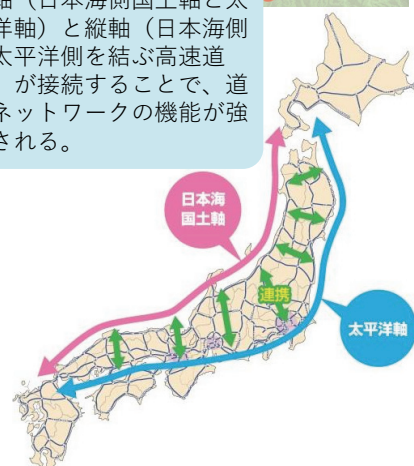
【H30.8.6】村上市蒲萄地先

【大雪により大型車両がスタックし通行不能】



【H30.2.6】村上市蒲萄地先

横軸（日本海側国土軸と太平洋軸）と縦軸（日本海側と太平洋側を結ぶ高速道路）が接続することで、道路ネットワークの機能が強化される。



新潟県と山形県の県境部に位置する国道7号と国道345号は、地震や越波、大雨や大雪、交通事故等での通行止めにより、道路ネットワーク寸断のリスクを持っている。

日沿道の全線開通によって、太平洋軸と対をなす日本海国土軸の安全な道路ネットワークが形成され、大規模災害等による道路ネットワーク寸断リスクが低減される。